

# 文芸

## 俳句

兵の墓桜と散りて二十代  
被災地に追い討ちかける春の雪  
鈴木とし子

身のこなしままにならねど今日もゆき  
ゲートボールに吾は挑戦  
吉岡 信子

記入台に向かひ背を見す幾人の  
コート濡れをり雨の強きか  
西山満里子

足元に老いのちかづく春の暮  
池田 逸子

下校子の声の明るき暮の春

伊藤 敬子

被災地の築ゆる生命人も木も

今闇満喜子

ホーホケキヨ復興祈る初音かな

魚地 照子

満天の星浮え返り余震なほ

大谷 武彦

江森 悅子

いざ咲かん並木の桜氣含滿つ

津波浜テレビが写す春の雪

川島 孝夫

麗かや何であつたつけ忘れもの  
川島 通則

ゴルフ打つ人の姿や鶴の群  
向後 寛

花日和泣く児も乗せて園児バス  
越川せつ子

花びらが花びら追いて川暮るる  
越川 義則

しばらくの思いを筆に託す春  
小松 藤男

手の温み添へて狭庭の花種時く  
佐瀬 輝夫

高梨 キヨ

入学子母の手はなれふり返る  
玉虫 栗扇

入学の子の背に踊るランドセル  
土屋 美枝子

初ざくら遮るものなき空へ

土屋 義昭

切株の中よりつんと築ゆる  
戸村 静華

被災者の笑顔が救ひ春来たる  
早川 勇

激震に津波原発はれぬ間  
越川 福子

ざゆつと握りて食ひ入るテレビ  
川島 孝夫

病みてより声も出さない飼犬が  
目だけで吾の動きを追ひぬ

鈴木まさ子

醉の物の若布は三陸大谷産  
海蘇るを願ひ食みとり

八角 三枝

病みてより声も出さない飼犬が  
目だけで吾の動きを追ひぬ

押尾 輝子

醉の物の若布は三陸大谷産  
海蘇るを願ひ食みとり

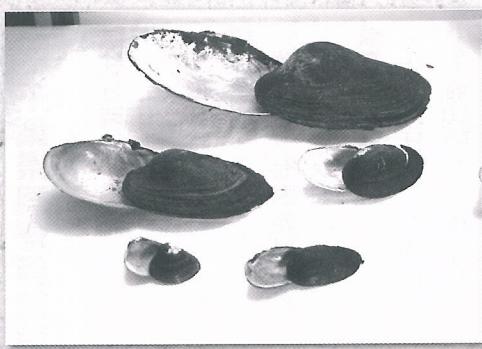
八角 三枝

病みてより声も出さない飼犬が  
目だけで吾の動きを追ひぬ

押尾 輝子

うほう物館  
博物館  
38

## 川の一枚貝



▶町内で採取された淡水の貝

は埋め立てられて暗渠になつてしましましたが、横芝の一號線用水路はその条件にあつたのか、これらの貝が多く生息していました。今では大島団地近くの海岸では、かつてナガラミやハマグリなどが盛んに採れ、食卓をにぎわせていましたが、近頃はあまり見られません。これら二枚貝は淡水小魚のタナゴにとつても、繁殖に重要な役割を果たしています。巻貝とは別に、田園のわきを流れれる小川や水路にも、貝がいることをご存知でしょうか。ここに紹介する貝は、町内の小川や水路の淡水に生息する二枚貝です。

写真中、最も大きいのと二段目の三点はドブガイと呼ばれる貝で、名前に似合はずきれいな水が流れる川に住んでいます。一番手前の右側はイシガイと呼ばれるドブガイの仲間ですが、殻が厚く硬くなっています。左側の一番小さいのはマシジミという淡水のシジミです。

これらの貝は、水がきれいな流れのある川に生息しています。そのため少しでも川の水が汚れたり、流れに滯りが起きたりすると、たちまち生息できなくなり、死んでしまいます。今